

第34期 決算公告

奈良市南京終町一丁目93番地2
南都コンピュータサービス株式会社
取締役社長 西本 英明

貸借対照表

(令和 2年 3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I. 流動資産	1,050,817,945	I. 流動負債	87,673,784
現金及び預金	964,190,365	買掛金	1,323,070
売掛金	71,454,315	リース債務	1,720,388
未成業務支出金	10,403,996	未払金	147,500
商品	3,216,843	前受金	0
原材料	1,552,426	前受収益	1,503,161
未収還付法人税等	0	未払費用	5,339,734
前渡金	0	未払賞与	44,462,104
		預り金	2,001,927
		仮受金	0
		未払法人税等	13,365,000
		未払消費税	17,810,900
II. 固定資産	108,065,142	仮受消費税	0
有形固定資産	3,610,655	II. 固定負債	195,760,267
建物附属設備	375,204	退職給付引当金	195,324,245
機械及び装置	1,154,296	リース債務	436,022
車両運搬具	0	負債合計	283,434,051
工具器具備品	46,488	純資産の部	
リース資産	2,034,667	I. 株主資本	875,449,036
無形固定資産	6,191,169	資本金	10,000,000
電話加入権	576,000	利益剰余金	1,217,849,036
ソフトウエア	5,615,169	利益準備金	2,500,000
投資その他の資産	98,263,318	その他利益剰余金	1,215,349,036
差入保証金	5,663,521	(繰越利益剰余金)	1,215,349,036
長期前払費用	9,466,318	自己株式	-352,400,000
繰延税金資産	83,133,479	純資産合計	875,449,036
資産合計	1,158,883,087	負債及び純資産合計	1,158,883,087

南都コンピュータサービス株式会社
個 別 注 記 表

○ 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価の方法

- (1) 棚卸資産
・商品 先入先出法による原価法
・原材料 先入先出法による原価法
(2) 有価証券
移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産（リース資産を除く）
建物、建物附属設備及び構築物の減価償却は定額法、その他の有形固定資産の減価償却は、定率法による。
(2) 無形固定資産（リース資産を除く）
無形固定資産のソフトウェア償却は、定額法による。
なお、自社利用のソフトウェアについては、当社で定める利用可能期間（5年）に基づいて償却する。
(3) リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」及び「無形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とした定額法による。なお、残存価格については、リース契約上に残価保証の決めがあるものは当該残価保証額とし、それ以外のものは零とする。

3. 重要な引当金の計上方法

退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、必要額を計上する。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法は、税抜方式を採用する。

5. リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する事業年度に属するものについては、通常の賃貸借取引に準じた会計処理による。

○ 貸借対照表に関する注記

1. 減価償却累計額 25, 333, 346円

2. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、車両運搬具については、リース契約により使用しております。

○ 損益計算書に関する注記

1. 一株当たり当期純利益 222, 939円90銭

○ 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の総数
普通株式 200株
2. 当該事業年度の末日における自己株式の数
普通株式 80株

3. 当該事業年度中に行った剩余金の配当に関する事項

配当財産の種類 金銭

配当財産の帳簿価格 100,000,000円

○ 当期純利益 26,752,788円